



大分市立城南中学校PTA 家庭教育学級「ここみ」

大人の本気！本気の大人！

「ピグマリオン効果」♡こんな子になって欲しいという気持ちで
言葉の中に伝える。マイナスの言葉ではなく、プラスの言葉が
飛びかう家庭にしたいと思ってきました。

言いかえ言葉のVTRも心に伝ってきました。ありがとうございます♡



8月16日（月）に、大分市立城南中学校PTA 家庭教育学級「ここみ」の令和3年度第1回開級式の記念講演（研修）によられました。
名前の「ここみ」とは、ここ＝居場所 み＝己、私 の意味が込められています。参加される保護者や教職員の方々、研修や活動をとおして、私の場所、安心して個になれる場所となることを目的としている素晴らしい会でした。
コロナ禍の中にあって、人との繋がりが求められる今、本気で絆を深めようとして取り組みが行われています。私も、本気で笑わせ・いや、全力で講話を行いました。



お子さんにつけて欲しい力、願う姿

- 何かにつまずいた時に、素直に「助けて」「手伝って」と言える子どもであってほしい。
- 自分を大切に、相手のことも考えるような子。
- みんなと仲良く過ごして欲しい。
- 自分の事は自分でできるようになってほしい。
- 他者と思いやり合って協力する力
- 人を受け入れる力＝素直でいる
- 起きたことをプラスに考えることができる力（解釈の違い）
- 人生の苦難に立ち会っても乗り越えていけるたくましさをもってほしい。
- 苦手なこと、嫌だと思ふこと（人）に出会った時に、その中に良さを見つけ、前向きに取り組める人。
- 今のまま素直に成長してほしい。
- 人生を楽しんで欲しい。
- 自立するために、他の人と協力できる力。
- 問題解決能力
- 自分を立て直す力。
- 信じるものをもっている



<感想 一部抜粋>

- 「ピグマリオン効果」大人も子どもも期待されるから頑張れると、改めて思いました。
- 私の子どもは、私に似らず「いろんな事ができてすごい！」と思うことがたくさんあるのに、宿題をさっさとやらない等、そんな事ばかりに目が向いて最近ほめていませんでした。帰ったらすぐにほめます。
- 「ほめる」「しかる」は、どちらも成長に必要な手段であるということをととても新鮮に感じました。教師生活を通して「ほめる」ようになってきたけれど、まだ自分の足りない部分を痛感しました。本当に今日は参加して良かったと思っております。ありがとうございました。
- 「事実+感謝+価値」の3点セットとほめることの大切さ「ちゃんとほめて」という言葉が印象的でした。子ども達と私、夫、みんなで取り組みたいと思います。大切なことを教えてくださりありがとうございました。
- 「ほめなきゃ」と思ってほめることが「目的」になることがあるなと気づきました。その先に何を思うか！相手（子ども）に何を伝えたいかも心にもってたいです。楽しかったです。疲れていたけど癒やされました。